つなげ伝統　表佐祭り

10月4日(日)、待ち望んだ地区最大の行事、表佐祭りが表佐地内各所で開催されました。

どんよりとした薄曇りの中、午前8時の常夜燈、各神社での神事祭祀に始まり、10時からは、東西2ブロックに分かれてのこども神輿が、子ども会育成会の皆さんのご協力により表佐地内を練り歩き、地域の人がおひねりをあげていました。

こども神輿の途中から小雨が降りだし、午後3時からの表佐太鼓踊りは、急きょ表佐小学校体育館に会場を移して行われました。表佐小太鼓クラブや中学生の皆さんによる少年太鼓も加わり、大勢の観客が見守る中で盛大に開催され、大人と子どもが一体となった伝統の太鼓の音が、体育館に響き渡りました。

雨もあがり小康状態となった夜には、表佐踊り、仁輪加、囃子が、こども園園庭で繰り広げられ、大きな踊りの輪が出来上がっていきました。

また、園内にはこども園園児の皆さんが作った行灯やランタンも飾られ、祭り情緒を一層奏でていました。

祭典委員の皆さん、各自治会長をはじめ祭りに関わっていただいた全ての皆さん、ありがとうございました。



中面には表佐祭りの写真を掲載しています

ちさと
表佐まち協だより
2026年11月1日
表佐まちづくり協議会
垂井町表佐1723-1
Tel・Fax22-1011
Mail:osakou@town.tarui.lg.jp
広報部会

まち協ホームページへのアクセスはこちらのQRコードから

11月22日 表佐地区文化祭

皆さんの参加を！

11月22日(日)、表佐地区まちづくりセンターを会場に、「表佐地区文化祭」を開催します。

現在、回覧でもお知らせしましたように展示作品、農産物展出展品等を広く募集しています。詳細はまちづくりセンターまでお問合せください。

また、当日は、表佐こども園園児や小学校児童の作品展示、クラブ・サークルの作品展示、芸能サークルによる発表のほか、商工会、農業婦人クラブによるバザーなど盛りだくさんの内容を用意しています。詳細は、本日全戸配布していますプログラムのとおりです。プログラムの端の引換券をご持参いただきますと、素敵な参加賞をお渡しします。

皆さんぜひ、まちづくりセンターまで足を運んでください。

〝作品募集中〟

ハリヨ便り

色鮮やかな紅葉の季節、郷土の神社などのモミジが色なす赤から黄色の壮大なグラデーションは、感動を与えてくれる。視覚から人間に及ぼす効果は大きい▼人間は外界からの情報を、五感の視覚から70％、聴覚から20％、残り三感から10％得ているとされる。人間はもともと自然環境のなかで過ごしてきた。しかし日常的に自然との接触が少なくなった現代、自然との接触を求める人が多くなっている▼かつて業務でブラジルのサンパウロ州に滞在したが、はっきりとした四季がなく、色鮮やかな紅葉が見られなかった。紅葉は朝晩の冷え込みと十分な日光が必要で、秋に一気に冷え込み、緑色の物質が素早く分解される。また昼に十分な光を浴びて蓄えられた糖分が、冷え込みにより一気に赤色となる▼日本の紅葉は美しい。日本の四季に感謝したい。自然の紅葉の色づきは何となく賑やかで、華やかで、心も身体も澄みわたり、日頃の疲れ・苦しみ・悩みなどが、スッと消えてしまう。それは視覚から身体や精神に及ぼす効用があるからであろう。紅葉の効用である。

「地蔵院涅槃図の修復完了！」

往時の姿よみがえる　連合自治会

地蔵院には1803年の江戸後期に描かれた仏教美術の「涅槃図」があります。長年にわたり盆供養や春の永代経などに使われてきたため、傷みが大変ひどくなり使用に耐えなくなりました。保管をお願いしている阿弥陀寺様のご助言により、今回専門職人による2か月に及ぶ表装の取替え、剥離部分の補修や加筆補色、無数の折り皺伸ばしなどの修復が終わり「涅槃図」は往時の姿を取り戻しました。更に破損していた収納箱も、防虫のため桐の箱に新調しました。

「涅槃図」は、お釈迦様がインド北部の沙羅双樹の林で入滅する様子を描いたものです。地蔵院のものは、総幅117ｃｍ、総丈196ｃｍの大型で普通の掛け軸の二倍以上あります。そこには沙羅双樹の下に横たわる釈迦を取り囲み、嘆き悲しむ多くの弟子達や菩薩、十二支をはじめとする生きとし生けるものが所狭しと描かれています。

連合自治会では、地域の皆様にもご覧いただきたく、よみがえった「涅槃図」を来る11月22日の表佐地区の文化祭に展示することにしました。

展示の際には、なぜ十五夜の満月なのか、なぜ沙羅双樹の四本が枯れているのか、なぜ猫がいないのかなどの絵解きも考えております。11月22日の表佐地区の文化祭に、ぜひ足をお運びいただき、涅槃図をまじかにご覧ください。



修復なった「涅槃図」
（普段は、阿弥陀寺にて保管されています。）

11・12月の行事・講座

行事・講座・教室名

実施日	時間	場所
三世代親子なかよし祭り　小学生と地域の皆さんとの交流		
11月7日(土)	8:30～11:35	表佐小
表佐地区スポレク大会　モルックとラダーゲッターを楽しみます		
11月8日（日）	9:00～11:30	表佐小体育館
ちさと子ども教室　グラウンドゴルフを楽しもう		
11月14日(土)	9:30～11:30	相川河川敷
いきいきふれあいサロン　昔ばなしと脳トレで楽しいひとときを		
11月19日(木)	9:30～11:30	表佐まちセン
寄せ植え教室　年末年始を彩る一鉢を（募集中）		
11月20日(金)	14:00～15:00	表佐まちセン
表佐地区文化祭　今年も、まちセン全館を使って実施します。		
11月22日(日)	9:00～15:00	表佐まちセン
料理教室　クリスマス料理に挑戦！（募集中）		
11月28日(日)	**10:00～13:00**	**表佐まちセン**
表佐地区防災訓練　避難所の開設・運営の手順などを学びます		
11月29日(日)	9:00～12:00	表佐小体育館

皆さんの参加をお待ちしています。詳しくは回覧・全戸配布チラシで。
感染症の流行、その他状況によって、延期・縮小・中止・開催方法変更の場合があります。その場合には、回覧やホームページ等でお知らせします。

カワニナ採り　ホタルの幼虫のえさとなるカワニナを採ります		
12月5日（土）	9:00～11:00	ハリヨの里
スマホ教室　スマートフォンを使いこなそう(後日募集)		
12月2、9、16、23日（水）	13:00～15:15	表佐まちセン
ちさと子ども教室「しめ縄づくり」　お正月を彩る飾り		
12月12日(土)	9:30～11:30	表佐まちセン
ダンボールコンポスト講習会　生ゴミを資源に(後日募集)		
12月14日(月)	13:30～14:30	表佐まちセン
いきいきふれあいサロン　クリスマスお楽しみ会		
12月17日(木)	9:30～11:30	表佐まちセン
ちさと子ども教室「門松づくりと餅つき大会」　玄関に飾る門松を作ろう		
12月19日(土)	9:30～11:30	表佐まちセン

11・12月の休館日

11月	**3日(火)**
	4日(水)
	10日(火)
	17日(火)
	24日(火)
	25日(水)
12月	1日(火)
	8日(火)
	15日(火)
	22日(火)
	29日(火)
	～
1月	5日(火)

防災コーナーはお休みします

表佐踊り、囃子・仁輪加

午後７時から



















こども神輿

午前10時から





表　佐　太　鼓　踊　り

午後３時から









表佐祭りを終えて

表佐祭祭典実行委員会
委員長　久保田徳之

雨が降ったり止んだりのあいにくの天候でしたが、二年ぶりに表佐祭りを開催することが出来ました。

開催にあたっては、先輩諸氏を始め連合自治会、子供会育成会、表佐太鼓踊り保存会の方々と共に祭典委員が一致団結、そして何より表佐地区皆様のご理解、ご協力を賜わりましたこと心から御礼申し上げます。

午前中は子ども会育成会によるこどもみこしが行われましたが、練り歩きの途中で雨が降り出し、計画したすべての自治会への練り歩きが出来なくなり、自治会の皆様にはご迷惑をお掛けしました。

午後3時からの表佐太鼓踊り保存会による太鼓踊りは、表佐小学校体育館にて行われ、今年は小中学生も参加していただき、古くから伝承されて来ました地域独自の伝統芸能を一致団結して、立派に披露されました。

夜には表佐踊り、囃子、仁輪加が表佐こども園園庭にて行われ、音頭に合わせた表佐踊りの輪が広がり、表佐地区の皆様も多数参加された中に囃子、仁輪加が入場したことで表佐踊りも最大の盛り上がりとなり、感激の瞬間となりました。

表佐祭りを振り返れば、これまでにない地域の皆様の連帯と結びつきを感じたものの、高齢化や無関心による伝承の危うさは切実だと痛感しました。特に囃子や仁輪加の参加者を回覧にて募集するも集まらず大変苦労しました。

今後は「若い世代の参加や参加したくなる表佐祭り」へ向けてのあり方を検討する必要があると感じました。

最後に表佐祭祭典実行委員長の大役を、連合自治会を始めとする多くの関係者及び地域の皆様に助けられて無事終えることが出来ましたこと、深く感謝申し上げます。